



第590号

学校だより

6月号

横浜市立東本郷小学校

令和8年5月29日

ひとにやさしくありがとうの^{こころ}で がんばる^{さいふ}がんばる^{さいふ}最後まで 本気で^{ほんま}取り組む^くひがほんの子

実りのカタチ

学校長 ^{どうごし}堂腰 ^{やすひろ}康博

期待をいっぱい膨らませて子どもたちがやってきます。「校長先生、今日スマイルグループの顔合わせがあるんだ。4年生だから、今年はリーダーだよ！」そう教えてくれた子は背もぐんと伸び、すっかり高学年の表情を見せています。「50メートル走のタイムをとるんだ。いっぱい練習してきたから！」ビシッと気合いを語ってくれるのは3年生。力強さが後ろ姿から伝わってきます。2年生のある子は、連日、手に大きな袋を下げて登校してきます。「お別れ会（教育実習生との）に間に合わないから家でやってきた！」袋の中には折り紙で作った輪飾が入っていて長さは相当になりそうです。どの子の言葉にも「今日はこれをやるんだ」というまっすぐな思いが宿っています。その勢いにふれるたびこちらまで新しい力が湧いてきます。一日が動き出す大事な朝のひとつとき、子どもと交わす会話や笑顔が、わたしは大好きです。



スマイルグループで
仲良く交流する3・4年生

真夏のような暑さとなった5月19日、東鴨居中の体育祭を参観することができました。汗と土埃にまみれながら躍動する生徒たちの姿は眩しいほどでした。力と力が激しくぶつかる迫力の騎馬戦、スピードを落とさずにバトンをつなぐ色別対抗リレー等、どの競技にも目を奪われました。印象的だったのは、競技を終えて勝敗が告げられるまでの待つ姿勢と結果をまっすぐに受け止める潔さです。勝ってもおごらず、負けても崩れず、相手チームを讃える姿に学校全体のよい雰囲気を感じました。

観客席にいるわたしのもとへ、卒業生たちが「久しぶりです」とあいさつに来てくれました。遠くから気づき、笑顔で大きく手を振ってくれる子もいます。中学生としてたくましく成長しながらも、どこか小学校時代と変わらない愛らしさが残っている、そんな姿に自然と頬がゆるみましました。

同席した近隣校の校長先生とグラウンドを見つめながら話をしました。この地域の方々が日頃から町ぐるみで子どもたちのためにイベントを開き、盛り上げ、つながりを育み、見守り続けてきてくださった、その積み重ねがあるからこそ、生徒たちはこうして体育祭に真剣に参加し、仲間と関わり、まっすぐに育っているのだと。学校に広がる熱気には、目には見えない地域の支えが確かに息づいていることを実感するとともに、感謝の気持ちが自然と湧いてくるのでした。

体育祭の余韻が残るその日の夕方、学習塾へと向かう東鴨居中の生徒に遭いました。汗にまみれて競技に打ち込んでいた昼間の熱気をしまい込み、すっきりと私服に着替え、引き締まった表情になって前を見据えています。すれ違いざまに「行ってきます」と、真っ直ぐな視線を送ってくれました。仲間とともに力を尽くす時間も、自分の夢に向かって努力する時間もどちらも大切にしながら歩んでいる。その背中に中学生としての頼もしさを感じました。

わたしたちが大切にしている「本気で取り組む」「最後までやり切る」という経験の積み重ねは、間違いなく中学校での輝きにつながっています。小学校での学びや生活、その一瞬一瞬が、数年後にまぶしい姿へと実を結ぶことを信じ、子どもたちと心を通わせながら、一步一步進んでまいります。